

エコパーク通信

中秋

平成27年度10月号

朝夕めっきり涼しくなり、秋の気配を感じる過ごしやすい季節となりました。園内を散策するとたくさんの秋が見つけられることでしょう。是非、お越しください。

ジニア百日草

ヒルサキツキミソウ



ニラ

メランポティウム



マツ ユシヤゲ
曼珠沙華
別名 (ヒガンバナ)



△

ミツバチ



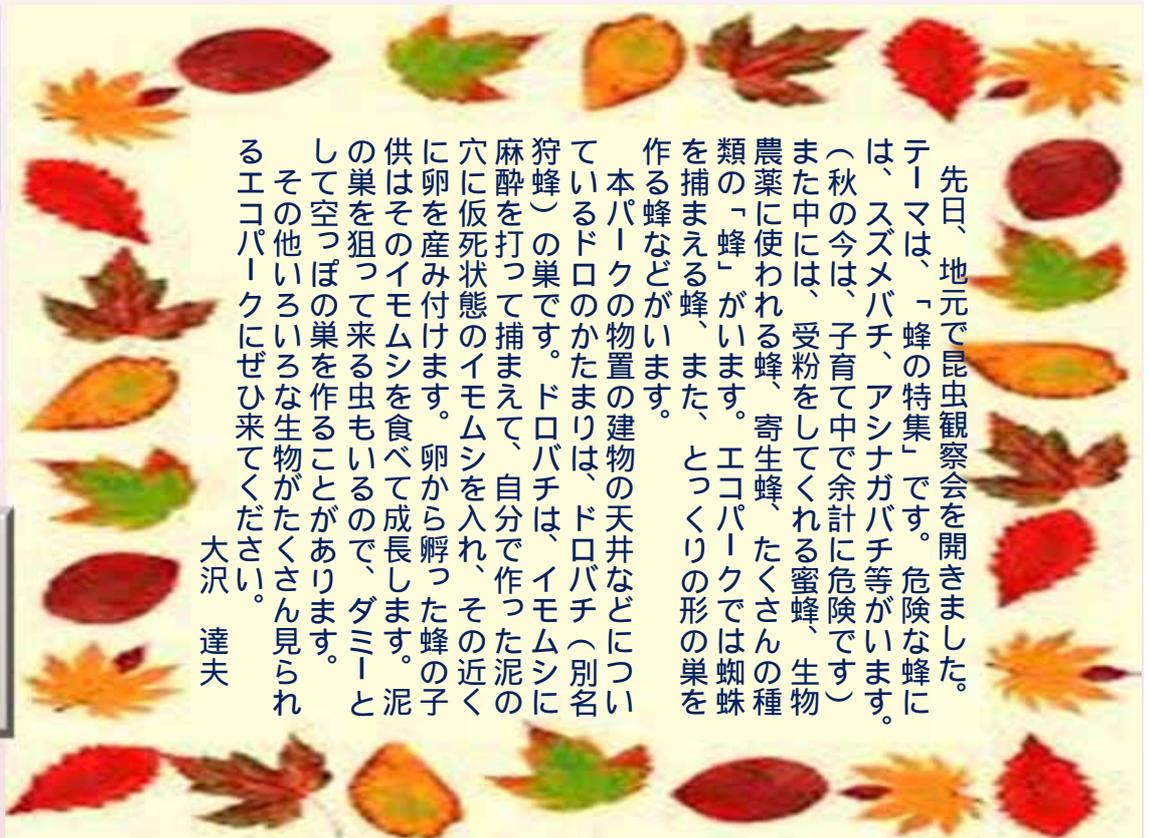
スズメバチ



ドロバチ



エコパークのドロバチの巣



先日、地元で昆虫観察会を開きました。テーマは、「蜂の特集」です。危険な蜂には、スズメバチ、アシナガバチ等がいます。(秋の今は、子育て中で余計に危険です) また中には、受粉をしてくれる蜜蜂、生物農薬に使われる蜂、寄生蜂、たくさんの種類の「蜂」がいます。エコパークでは蜘蛛を捕まえる蜂、また、とっくりの形の巣を作る蜂などがいます。

本パークの物置の建物の天井などについているドロのかたまりは、ドロバチ(別名狩蜂)の巣です。ドロバチは、イモムシに麻酔を打って捕まえて、自分で作った泥の穴に仮死状態のイモムシを入れ、その近くに卵を産み付けます。卵から孵った蜂の子供はそのイモムシを食べて成長します。泥の巣を狙って来る虫もいるので、ダミーとして空っぽの巣を作ることがあります。その他いろいろな生物がたくさん見られるエコパークにぜひ来ててください。

大沢 達夫

